

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	ビジョップ	Lv.1:		レベル	24
サポートクラス	ブリーチャー	Lv.1:	アルケミスト	性別	男
称号クラス				年齢	
種族	リーベリ			境遇	傷病
出自 (効果)	冒険者			目標	友情

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	23	9	12	39	15	34	9
ボーナス	7	3	4	13	5	11	3
クラス修正	1	0	0	4	0	3	0
他修正				6	1	3	
能力値	8	3	4	23	6	17	3

HP	189
MP	251
フェイト	12

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	クラブS3	至近	-1	2	0	0	0	0	0
左手	屍山血河の白羽扇	至近	-3	12	0	0	0	-3	
頭部	知恵の宝冠S1					5	1		
胴部	還源魔石-オリジア・ナイト-					16	12		
補助	誓いの指輪：零の楔					0	0		
装身具	聖戦の紋章								
能力値			3	0	4	0	17	10	13
スキル	サクセション、強化、フェアリットフィールド					1	5		
その他	対魔のクリスタル、エポナブス						2		20
総計(右)			2	2					
総計(左)			0	12	4	22	37	7	33
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	6			6	+ 2 d
トラップ解除	3			3	+ 2 d
危険感知	6			6	+ 2 d
エネミー識別	23			23	+ 2 d
アイテム鑑定	23			23	+ 2 d
魔術判定	23			23	+ 2 d
呪歌判定	17			17	+ d
錬金術判定	3			3	+ d

所持品	
防壁のクリスタル	ランチボックス
精神のクリスタル	ハイMPポーション*5
知力のクリスタル	果実*6
対抗：スリップのクリスタル	MPポーション*10
エポナブス	調理用具
ミニポメロ	オメガルビーの指輪
祝福の花	守護のアメジストの指輪
冒険者セット	還元石(クリアム)の飴袋
異次元バッグ	福笑いの仮面
ベルトポーチ	真紅の杯
ポーションホルダー	生命の指輪

現在重量：	43	所持金：	120225	預金・借金：	
最大重量：	88				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ハーフブラッド	★	-	パッシヴ	-	-	-		
効果：	タイミングがメイキングのヒューリン以外の種族スキル一つを修得。ただし幸運基本値-3							
プロテクション	1	3	DR直後	20m	単体	自動成功	1/MP	
効果：	対象が受ける予定のダメージに-[SLd]							
フェイ：フェアリー	★							
効果：		1						
効果：		1						
効果：								
リムーブトラップ	★							
効果：								
トレーニング：知力	★							
効果：								
アースノウリッジ	★							
効果：								
誓約：ミニポメロ	★							
効果：								
トレーニング：精神	★							
効果：								
ベアアップ	★							
効果：								
ファーストエイド	★							
効果：								
サクセション	★							
効果：								
誓約：エポナブス	★							
効果：								
誓約：エポナブス	★							
効果：								

CL1 クイックヒール アフェクション ヒール 魔術 アルケミカルサークル サイエンス

【キャラクター設定】
ある時は音声情報関連の特殊なアーツを使うトランスポーター(物資や情報の運び屋)、
またある時は戦場通信の維持と秘密作戦の支援を担う傭兵、
またまたある時は自称「百年に一人のイケメン」。

数年前に鉱石病(カバジ)をいう不治の病を患い、差別や迫害から逃げるように故郷を旅立った。
一度見たものは忘れない優れた記憶力と空間把握能力により、以前から迷宮や密林の案内人や地図作成の測定員として働いていた為、
旅に出ても秘境の案内人や貴重物品・情報の運び屋を生業としている。
傷病以前は全く魔術の類は使えず己の身一つで悪路を切り開いてきた為、戦闘や荒事を嫌うが、身体能力とサバイバル能力は冒険者に引けを取らない。

鉱石病は源石(カバジウム)という特殊な純粋エネルギー源鉱石を何らかの方法で体内に取り込むことで発症し、
体液や身体組織が徐々に源石に侵食され、多臓器不全をはじめ様々な症状を併発し、やがて死に至る致死率100%の病だ。
実際には鉱石病は人から人へ感染はしないのだが、一般には多く感染病と信じられており、それも一因となって鉱石病発症者は深刻な差別と迫害の対象となる。
また、源石は超強力なエネルギー源であり、一部の都市のインフラを支えたり、近代的な兵器に利用される程で、
鉱石病の発症者もそのエネルギー源を得て魔術や力に目覚める者が多い。
病気の進行と共に、身体を占める源石の割合が増えていき、体表にも源石が現れ、より強力な力を持つようになる。
病の進攻を防ぐには、対症療法と絶対安静、力の行使を止めることだけだが、被差別民である感染者は殆ど例外なくそのような治療を受けることができないでいる。

エリジウムは仕事先の迷宮で源石のガスを吸い込み、左肺に病巣ができ、鉱石病を発症した。

